No. 78

平成28年5-6月号

杉の実だより

杉浦実業株式会社

大阪市東成区中本3－16－13　TEL06-6976-6194　FAX06-6976-3964

編集：杉浦勝昭/川端真美

百年企業を目指して

今年で会社設立51年となる。50周年記念記念事業としてパリへの社員旅行も（いろいろあったが）無事終わり次の50年が始まっている。

百年企業を目指して百年の計を立てれればいいのだが正直50年先には生きてはいないだろうし、どんなことをすればいいのか想像することすらできない。

せめて10年先くらいを見定めながら、この3年を生き延びていくことを考えよう。

最近の状況を表現するのにどういう言葉がいいか頭を悩ましていたが、「まだら」いう言葉を思いついた。

全ての点で焦点が絞れない。どこからどこまでが一つの問題なのかわからない。この点とあの点とがどうも繋がらない。

認知症の「まだらボケ」の状態である。

不動産市場も、いいところ、わるいところ、まだら状態である。いいところのすぐ近くでもいいとは限らない。一本通りが違うと全く評価が違ってしまう。

まさに難しい時代だ。

これからますます自分個人の一人一人の見識を問われる時代のようだ。

一人一人が自分の見識を持ち、そして信頼できる仲間作りが重要なのではないだろうか。

この分からない時代、一緒に進んでいきましょう。

平成28年5月－6月　予定

5月10日（火）13:00-17:00
囲碁の会＠杉の実倶楽部（第二火曜）
古家裕子インストラクターによる
指導碁・大盤解説・対局

5月13日（金）12:30-13:30
不動産情報交換ランチの会

5月18日（水）18:00-20:00
杉の実ネクスト異業種交遊会
「見てきた最近のパリ」

5月25日（水）18:00-20:00
第八回巴里カフェ
「ワインとチーズ」

5月26日（木）13:00-17:00
囲碁の会＠杉の実倶楽部（第四木曜）
古家裕子インストラクターによる
指導碁・大盤解説・対局

6月14日（火）13:00-17:00
囲碁の会＠杉の実倶楽部（第二火曜）
古家裕子インストラクターによる
指導碁・大盤解説・対局

6月22日（水）18:00-20:00
杉の実倶楽部異業種交遊会
「落語」

6月23日（木）13:00-17:00
囲碁の会＠杉の実倶楽部（第四木曜）
古家裕子インストラクターによる
指導碁・大盤解説・対局

吉野の桜

日本国内あらゆるところに「桜の名所」と呼ばれる場所が数多くあると思われますが、その中においても５本の指に入るといわれているのが、奈良の吉野の桜群です。千本桜で有名だとおもいます。下千本から奥千本にわたり、４月の上旬から中旬にかけて千本どころか３万本のシロヤマザクラが豪華絢爛に吉野の山肌に咲き乱れます。

全国の多くの桜の名所においては、ここ最近になってから桜並木を整備したり、古くからある桜の古木を後世に残していくために保護したり、いわゆる「花見」のために植栽及び管理をしています。しかし吉野の桜はそういった花見だけの桜というものとは異なり、山岳宗教と密接に結びついた、いわゆる信仰の桜として現在まで大切に保護されてきました。その起源は今から約1300年前までさかのぼります。吉野地方は山上ケ岳や大峰山などの修験道が有名ですが、当時から吉野は神仙の住む理想郷とされていました。後に修験道の開祖とよばれる役行者は、山上ケ岳の奥深くで、千日の行を果たし蔵王権現を感得し、その尊像こそ民衆を救うものと桜の木に刻み、それを山上ケ岳と吉野山に祀ったとされています。その後修験道が盛んになるにつれて、本尊を刻んだ桜こそ「御神木」にふさわしいとされ、いわゆる献木が繰り返され植え続けられ今に至ってます。

京都の円山公園のシダレ桜も有名ですが、吉野の桜にも名桜と呼ばれる桜があって、
勝手桜、夢見桜、御車返し、四本桜、天人桜と呼ばれる古桜です。それらを探しつつ、今も脈々と継がれている歴史ロマンあふれる吉野の桜を、今年も見に行こうと思います。
混雑を覚悟で・・・。　　（ならづけ）

～ 願いを込めて ～

長男の初宮参りが先日、無事に行われました。
日時はこだわらず、冬の寒い時期をさけて、少し暖かくなりそうな日に決め、地の『萱野の大宮さん（爲那都比古神社）』でお願いすることになりました。しかし当日は、ちょうど寒の戻りでしたが快晴。

祝い着は、妻の実家が羽二重の小袖を用意してくれました。
おめでたい‘鷹と竹の絵柄の熨斗目模様’。なんと！！総手縫い刺繍！！
鷹は、くちばしから羽根や爪の先まで金色と銀色で、翼を大きく広げて力強く勇ましい。竹は控えめに墨絵のように描かれているが、地面にしっかり根を張って、まっすぐ伸びている。

袖を通すと凛々しくなる祝い着に込めた想いをお聞きしました。
着物好きである妻の祖母が、代々袖を通せる祝い着を望んでいた事、昨年１０月９３歳で亡くなった祖父がよく話していた、『子孫が途絶えることなく増え続ける事を願っている』事で、４０年ほど前に呉服屋に仕立てて頂いたものらしいです。２人にとって初曾孫の長男が羽織ることができ、本当に私も嬉しさと感謝の気持ちです。

家紋を注文し、我が家の家紋が付いた羽二重の紋付が出来上がり、私の母親が長男を抱いて御祓いと祝詞をあげていただきました。授かった時すでに家族になっていたはずだが、清らかな気持ちの中、玉串奉奠が終わると、改めて父になる覚悟ができました。

その後は、信頼できるカメラマンにお願いをし、何枚も何枚も撮り続けました。私たち以上に両家両親が楽しみ、時間も予算も少しオーバーに。
御宮参りの祝い膳は、祝い鯛を用意し和やかに過ごしました。長男は、大役を果たし終えたようでまた少し大きくなったように感じ、よく眠っていました。　（ノッポさん）

フランスのバター

　先日のフランスへの社員研修旅行は、帰りの飛行機でオーバーブッキングという災難にあい、３０時間ほどおくれての帰国という旅の締めくくりでしたが、憧れのフランスへの旅はとてもいい思い出になりました。

　この旅行に際して事前にネットでいろいろ調べていくうちに、フランスのバターは日本で買うより安くておいしいのでお土産に買って帰るという人の情報を見つけました。私はバターが大好きなのですが、最近日本では原料の生乳不足のため品薄状態が続いているようで、これはぜひ買って帰ろうと、ネットの情報を参考に、シール容器２個・ジッパー付保存袋・保冷バッグ・「叩けば冷える瞬間保冷剤」を用意しました。

　どんなバターがおいしいのかなどあまりわからずに、パリのスーパーで手当たり次第に７種類のバターを購入。日本でも人気の「エシレ」もありました。値段は日本の３分の１くらいでした。

　帰りは予定外の時間がかかったので心配しましたが、なんとか持って帰ることができました。

　７種類のうち、４つが有塩（Demi-Sel）で３つが無塩（Doux）でした。有塩のバターのうち「Sel　de Mer」は、粒状の塩が入っていました。

　少しずつ味見してみると、どのバターも少しずつ味に特徴があり、普段食べ慣れない無塩のものも濃厚に感じ食べやすく、Demi-Selは減塩だそうですがどれも結構塩味を強く感じました。

　まだまだ他に有名なおいしいバターがあるようで、もっといろいろ買って帰りたかったので、今度フランスへ行く機会があれば、ぜひまた買って帰りたいと思っています。

（ゆず）

金本阪神

　こんにちは、トラです。

今回は久しぶりにタイガースの事を書きます。

まずは、皆様もご承知の通り今シーズンから監督が金本氏になり、コーチ陣も矢野氏が新加入するなどかなり改革がなされております。

選手もドラフト１位入団のルーキー高山選手やプロ３年目の横田選手といった若手の起用や、メッセンジャー、ゴメスに盗塁をさせたりなど、アグレッシブで目が離せない野球をしてくれています。また、テレビ中継を見ていると時折ベンチの様子が映し出されるのですが、とにかくベンチの雰囲気が明るいです。

監督が代わるとこうも変わるものかと感じずにはいられません。

リーグ戦のプロ野球とトーナメント戦の高校野球とはもちろん野球の考え方は違うのでしょうが、同じ野球で勝負事なのでやはり1試合、1試合点差が開いていようと選手みんなの全力プレーをファンとしては見たいものです。

また、タイガースだけでなくセリーグ６球団全ての監督が、私と同じ４０代であることも楽しみの１つとなっており、他球団も含め目が離せないシーズンとなりそうです。　　（トラ）

ネクスト異業種交遊会　3月16日

ネクスト異業種交遊会　3月16日

　「コミュニケーション」をテーマに山中晶子先生と楽しく勉強できました。全員が参加するワークショップ形式でコミュニケーションの問題を身を以て体験出来ました。

憧れのフランス　モン・サン＝ミシェル

3/26～3/31まで、社員研修旅行でフランスに行ってきました。
当初は、昨年の11月23日出発の予定でしたが、出発10日前にパリ同時多発テロが起こり、延期になりました。今回も、出発直前に、怪我や体調不良でキャンセルする者もおり、最終的に５人での旅行となりました。この中に誰一人、フランス語はおろか英語も話せるものがいないという状況で、不安もありましたが、行ってみればなんとかなるものですね。まあ、飛行機に乗れば、自動的にパリに着くわけで、空港からホテルまで送迎してもらえるので、ここまでは何の心配もいりませんでしたが、、、。今回、旅行の一番のメインイベント！モン・サン＝ミシェル日帰り観光。途中、ノルマンディー地方の港町オンフルールに30分くらい立ち寄りますが、所要時間13時間30分の長旅でございます。フランスに旅行するなら、絶対モン・サン＝ミシェルに行きたい！と思っていたので、念願叶いました。そして、モン・サン＝ミシェル名物のオムレツもランチでいただくことができました。あいにく当日は、お天気も悪くて大雨の中での修道院見学となりました。修道院の中は、思っていた以上に殺風景でしたが、石造りの回廊や、テラスからはサン・マロ湾が一望できすばらしかったです。モン・サン＝ミシェルは周りが海に囲まれた島となっており、周辺は潮の干満の差が激しいことで知られています。干潟部分は満潮時海に覆われ、干潮時はモン・サン＝ミシェルの周りを一周できるほど潮が引くので、次回また行く機会があれば、暗闇にライトアップされた幻想的な修道院を見てみたいです！　（みるて）

新たな出発！

４月になれば新しい事が始まりますが、その前に終わりが有ります。我が子は１年生の時から学童に行き、４年生からミニバスケットを始めました。この３月は小学校の卒業式、学童の卒所式、ミニバスケットの追い出し会等のイベントを沢山して頂きました。参加できるイベントは参加をしましたが、どのイベントも感動するものばかりでした。主役は子供ですが準備は親が行い、手間暇掛けて準備したものと感じる事ばかりでした。いつも頑張っている子供を応援し、出来る限り親がサポートをするものと思っていますが、その思いの家族ばっかりだったので、感動する会が出来たのだと思います。子供達には「辞める事は簡単に出来る。最後まで頑張れば何かが待っている。」という事を信じて、新しい事に挑戦し頑張って欲しいと思います。
（ヨッシー）